

□令和6年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【特選】

選者	俳句	住所	俳号
稲畑 廣太郎	それぞれの歩幅でつづく蟻の列	川崎市	下村 修
稲畑 廣太郎	噴水の穂先のふれて星にじむ	岡山市	名木田 純子
井上 弘美	埋め立てる闇を揺さぶる牛蛙	世田谷区	野上 卓
井上 弘美	銀の国と記す航路図夕立雲	出雲市	下手 泰子
井上 康明	炎帝は伊賀連山の隙間より	大垣市	度会 さち子
井上 康明	陶潜に子を責む詩あり秋の暮	世田谷区	野上 卓
小川 軽舟	定位置に風鈴の音や親の家	大阪市	佐竹 三佳
小川 軽舟	うららかや母校は明日閉校す	伊賀市	中森 里江
小澤 實	次の旅我が伴せむあやめ草	小平市	塚田 見太
小澤 實	少年の尻輝けり草相撲	桜井市	中佐代 美
權 未知子	新札の遅れつく島灼くるなり	千葉市	島木 翠
權 未知子	絹ぐる四ノ三の針燈涼し	伊賀市	坂石 佳音
坂口 緑志	真筆の涼し芭蕉の蛙の句	奈良市	山中 智恵美
坂口 緑志	蜘蛛の囿の摺みきれざる落暉かな	伊賀市	猪岡 節夫
谷口 智行	隧道を抜け初風の浜街道	鈴鹿市	高尾 のり子
谷口 智行	洞塚へ世古の片蔭拾ひ行く	四日市市	森田 久枝
西村 和子	避難所の一輪挿しに野水仙	津市	山本 清稀人
西村 和子	草花の丈をただよひ秋の蝶	神戸市	杉岡 壺風
長谷川 權	被災地を励し雲の峰旺ん	神戸市	小柴 智子

□令和6年度 芭蕉翁献詠俳句 一般・テーマ部 【特選】

選者	俳句	住所	俳号
長谷川 權	一眠りしただけなのに明易し	津市	白木 ひろ海
星野 椿	時雨忌や異郷に在れど伊賀生まれ	藤沢市	中出 隆義
星野 椿	吊り橋をこわごわ渡る初音かな	佐世保市	相川 正敏
堀本 裕樹	大鷹におはやうと言ふ山暮し	富山市	小林 森ん波
堀本 裕樹	クレヨンの線路延びゆく冬銀河	世田谷区	松井 明夫
正木 ゆう子	セラヴィといへば泡吐く金魚かな	世田谷区	野上 卓
正木 ゆう子	母のごと吾をゆるさむ合歡の花	宮崎市	山野 楓子
三村 純也	帰省子の旨さうに食べ愛想なく	大阪市	香山 直子
三村 純也	熱爛や女将は今日も聞き上手	世田谷区	石川 昇
宮坂 静生	かなかなや天かけて声鋼めく	亀山市	岡田 良子
宮坂 静生	秋光を杼に神御衣を織りにけり	伊勢市	西岡 せつ子
宮田 正和	白き胸光らせ燕翻る	甲賀市	服部 登紀子
宮田 正和	風に染む白紫陽花のひとところ	伊勢市	久世 伸子
片山 由美子	もうだれも住まぬ生家の雪卸す	札幌市	藤林 正則
片山 由美子	風呂敷に生家の家紋土用干	日野市	田村 登代子